



建交労



2025年1月15日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2025年春闘No.2

2024年度推進ニュース⑩通算361号

発行責任者 小島 茂

神奈川県本部2025年新春旗びらき 1.12 横浜中華街の料理店で開催！

1月12日、建交労神奈川県本部は2025年新春旗びらきをコロナ禍以降の開催会場として定着してきた横浜中華街の料理店“北京カオヤテン”に於いて開催しました。

参加者は県本部役員、各支部代表と来賓(神奈川県労連の山田事務局長、神奈川県土建の荒井副委員長と井上書記次長、横浜合同法律事務所の清水弁護士と井澤弁護士、横浜法律事務所の杉本弁護士、日本共産党のはたの君枝元衆議院議員と神奈川県委員会の石井氏)を含めて22名が集いました。神奈川県南支部からは清野副委員長(県本部副委員長)、金崎書記長(県本部書記次長)、小島(執行委員長)の3名が代表として参加しました。

旗びらきは清野県本部副委員長の乾杯発声ではじまり、主催者あいさつを行った伊藤東一県本部委員長は「春闘はもうはじまっている。大企業はそこそこ(賃金は)上がるが、中小企業はどうゆうふう(賃金を)引き上げるか。実質賃金が4ヶ月連続で減少している状況を脱したい」と、春闘を強調しました。

つづいて来賓の方々からの挨拶と、しばしの歓談に華が咲いたあと各支部から新年のあいさと決意表明がおこなわれ最後に小野執行委員の閉会あいさつで2025年新春旗びらきを閉会しました。

本号ニュースの記事と写真を提供して頂いたのは支部の小島執行委員長でした。

和やかに歓談する神奈川県南支部の三役



新春の旗びらきを幕開けする清野副委員長の発声



主催者挨拶で春闘のとりくみを強調する伊藤委員長



参加者全員に意見・要望を聞いて回る畑野きみえ元衆議院議員(中央)
右は県本部の高橋書記長

神奈川県南支部は、大震災と豪雨災害からの復旧・復興が遅れている能登半島の現状に鑑みて建交労中央本部が1年前に呼びかけた以下のカンパ活動を今年も継続しますのでご協力をお願いします。

建交労第2023-010号

2024年1月11日

建交労県本部委員長 殿

建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)
中央執行委員長 角田 肇代



「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震（能登半島地震）は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。（1月9日現在）その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部（1名）、北信越労職支部石川分会（41人）が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間にも協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。

以上

【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店（普通）3731711
（名義）建交労中央本部

* 【郵便振替】

（口座番号）00180-3-25195
（名義）建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。